高等学校への進学を希望する生徒・保護者のみなさんへ
知っておいてほしいこと・できるようになってほしいこと

H31.１　県立江南高等特別支援学校　特別支援教育コーディネーター等研修会にて作成

生徒のみなさんへ

高等学校進学を希望する人に知っておいてほしいこと

○進級や卒業するためには、「決められた日数以上授業に出席すること」と「決められた点数以上の成績を取ること」が必要です。

●一つの教科について、決められた日数以上授業に出席し、決められた点数以上の成績を取ることでその教科の「単位」が認められます。学校ごとに定められた単位を取ることで、進級や卒業が認められます。

●進級や卒業に必要な出席日数は学校ごとに異なりますが、一つの教科について3分の1以上欠席すると単位が取れない学校が多いです。

●決められた点数より低い成績（赤点）を取ると、単位が取れません。評価の内容についてはテストの他にレポートや課題で評価をする場合もあるので、しっかり取り組みましょう。赤点の点数は学校ごとに異なります。

○別室登校や保健室登校は出席日数に含まれません。

●高等学校では、教室で授業を受けることで「出席」となります。授業の時間に別室や保健室など、別の場所にいた場合は欠席となります。また、遅刻をしたり、トイレに行くと言って長時間教室を離れたりした場合も欠席となることがあります。

○学校のルール（校則）が守れなかったり、指導に従えなかったりする場合、「停学」や「退学」になることがあります。

●「停学」とは、学校が決めた期間、登校を禁止されることです。飲酒や喫煙、暴力行為、迷惑行為、カンニング、いじめ行為、その他校則違反などがあった場合、停学となることがあります。処分の基準は学校によって異なりますが、内容が重大な場合は「退学」（学校を辞めさせられること）となる場合があります。

○高等学校では1クラス40人程度の生徒数に対して、先生が一人の場合が多いです。

●高等学校では、少人数での学習や生活は難しいです。自分でしっかり指示を聞いて行動することが求められます。

○すべてのことについて配慮することは難しいですが、相談することはできます。

●高等学校では中学校のように介助員の先生が側について教えてくれる、クールダウンの部屋で休む、個別に補充学習をする、といった配慮は難しいです。早めに相談することで配慮が可能な場合もあります。

☆高等学校のルールや学校生活についての詳細は学校ごとに異なりますので、特別支援教育コーディネーターの先生を通じて高等学校にお問い合わせください。

保護者のみなさんへ

高等学校との引き継ぎについて

高等学校には特別支援学級はありませんが、特別支援教育コーディネーターの先生など、専門に相談にのってくれる担当の先生がいます。入学が決まった段階で、担当の先生に中学校の授業や学校生活で実施していた支援や配慮事項を適切に引き継いでおくことで、スムーズに高校生活をスタートさせることができます。

本人に「特別扱いされたくない」という気持ちがあるかもしれません。しかし、高等学校に必要なことをしっかり伝えておくことが、本人に合った配慮や支援を考えていくことにつながります。高等学校への引き継ぎは、中学校の特別支援教育コーディネーターの先生や担任の先生を通じて確実に行うことが大切です。

生徒のみなさんへ

高等学校の先生に聞きました！
充実した高等学校生活を送るために、できるようになってほしいこと

○自分のできること、苦手なことを理解できるようになりましょう

●自分のできること、苦手なこと、苦手でもやり方を工夫すればできることなどを、家の人や先生と話し合って整理しましょう。自分のことを理解して、自分に合った学校を選ぶことが充実した高等学校生活につながります。

○苦手なことや分からないことは、先生や友達、家の人に相談できるようになりましょう

●苦手なことや分からないことなど、悩みをためこんだまま高等学校生活を続けていると、学校に行きづらくなってしまいます。学校に行きづらくなって欠席が多くなってしまうと、進級や卒業ができなくなってしまう場合があります。そうなる前に周りの人に相談しましょう。困ったときに人に聞けることは高等学校生活に必要な力です。

○自分の生活を自分で管理できるようになりましょう

●高等学校生活では、何事も「自分で考え自分で動く」ことが求められます。特に大切なことは次の3点です。

⇒毎朝決まった時間に起きて学校に行きましょう。遅刻するとしても、途中からでも学校に行きましょう。

一つの教科でも授業の出席日数が足りないと、進級や卒業ができません。

⇒次の日の予定について自分でメモをとって、自分で準備をしましょう。

高等学校には基本的に、中学校の生活ノートのような予定を書くためのノートはありません。中学校の時から次の日の準備は家の人に手伝ってもらわずに、必要な情報は自分でメモをとって、自分で準備をする練習をしましょう。

⇒提出物の期限を守りましょう。

提出期限のある書類や課題は締め切り日のメモをとるなどして、確実に提出期限を守れるようにしましょう。課題の締め切りを過ぎてしまうと単位が取れず、進級や卒業ができなくなる場合もあります。

○「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉掛けや基本的なあいさつができるようになりましょう

●高等学校では様々な中学校から入学してきた生徒と新たに人間関係を築き、集団生活を送ることになります。人間関係作りの基本となる「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉掛けやあいさつができるようになりましょう。

○気持ちのコントロールができるようになりましょう

●高等学校には基本的にクールダウンの部屋はありません。自分がどんな時にイライラするのかを知り、イライラする状況を自分で避けたり、イライラしてしまったときに自分なりの方法で解消したりできるようになりましょう。

○志望する高等学校は自分で決め、「目標」をもって進学しましょう

●高等学校は「なんとなく」や「親に言われて」進学するのではなく、自分で決めた学校に「目標」をもって進学しましょう。目標をもたずになんとなく学校生活を送ると、高等学校生活を続けることが難しくなる場合があります。

生徒・保護者のみなさんへ

困ったことがあったときの相談機関

高等学校生活の中で、または高等学校を卒業して進学・就労をした後でも、困ったことがあったときに相談にのってくれる相談機関があります。困ったことがあったときはご家庭だけで悩まずに、高等学校の担当の先生や次の相談機関に相談してください。

○新潟市若者支援センター　オール		TEL　025―247―6777
○新潟市障がい者基幹相談支援センター	中央（中央区）	TEL　025―248―7171
〃	東（東区・北区）	TEL　025―250―2315
〃	西（西区・西蒲区）	TEL　025―264―7468
〃	秋葉（秋葉区・江南区・南区）	TEL　0250―25―5661